

# 単元指導計画

単元の名前 「日本の自然の特徴と人々の生活」

□単元の目標

日本の地形、気候などに関する諸事象を理解するとともに、それらの分布や人間生活とのかかわりなどについて考察する。また、自然環境と災害、防災と減災への取り組みについて、現状と課題を考察する。

□単元の評価規準（評価規準の設定例を参考に作成）

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の自然環境に関する諸事象の分布や人間生活との関わりなどに関する考察を基に、身近な自然環境に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の自然環境と人間生活との関わりについて、系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の自然環境に関する諸資料から有用な情報を適切に選択し、それらの情報を基に、災害が生じる可能性を読み取ったり、防災・減災への取り組みについて図表などにまとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の自然環境について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul>

□指導と評価の計画

次 程	学習活動	評価の観点				評価規準等
		関	思	技	知	
第 一 次	日本の地形 <ul style="list-style-type: none"> <li>日本列島とその周辺の地形について特徴を理解する。</li> <li>日本列島とその周辺の地形的特徴から、火山や地震などの災害が生じやすい理由を考察する。</li> </ul>		○		○	【思】日本列島の断面図から、日本で火山や地震が多い理由を考察し、説明することができる。 【知】日本列島とその周辺の地形的特徴について、ヨーロッパなど他の地域と比較して説明することができる。
第 二 次	日本の気候 <ul style="list-style-type: none"> <li>変化に富んだ日本の気候について、特徴を理解する。</li> <li>気象災害の特徴と防災について理解する</li> </ul>		○		○	【思】日本周辺の海流や気団などからの影響を理解し、これらが日本の気候に与える影響を考察することができる。 【知】日本各地の気候について、それぞれの特徴を捉え、地域によって気候が異なる理由を説明することができる。
第 三 次 本 時	開発に伴う災害と防災 <ul style="list-style-type: none"> <li>学校周辺で見られる伝統的防災手段である霞提を、地形図で読み取る。</li> <li>ハザードマップから洪水被害を予想し、防災・減災の取り組みを考えることができる。</li> </ul>	○		○		【関】学校周辺の自然環境に関心を持ち、防災・減災について課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。 【技】既習の知識を活用して地形図を正確に判読し、ハザードマップから必要な情報を読み取ることができる。

# 学 習 指 導 案

日時	令和元年11月13日(水) 第3限	指導クラス	2年4組(男子24名、女子18名)	指導者	
教科(科目)	地理B	単元名	日本の自然の特徴と人々の生活		
教科書	新詳地理B、新詳高等地図		副教材	新詳地理資料COMPLETE2019	
本時の主題	開発に伴う災害と防災			本時(1時間目/1時間)	
本時の目標	身近で起こりうる災害の地形及び気候的な要因を理解した上で、将来にわたって私たちがどのように暮らしていくべきかを考えることができる。				
評価規準 ※本時は4観点のうち右の2観点を評価する	関心・意欲・態度		資料活用の技能		
	身近な地域の自然環境に関心を持ち、防災・減災について課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。		既習の知識を活用して地形図を正確に判読し、ハザードマップから必要な情報を読み取ることができる。		
指導の内容・ねらい	学 習 活 動			指導上の留意点・観点別評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の課題追究に向けての動機付けを行う。</li> <li>本時のMQ提示。</li> <li>グループごとに地形図の読み取りを行う</li> <li>グループごとにハザードマップの読み取りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○千曲川にある霞堤の氾濫の様子を動画で見る。</li> <li>○動画を見て気付いたこと、考えたことをプリントに記入する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>Question 1</b> 霞堤とは何か？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○霞堤が伝統的防災施設であること、霞堤のしくみ、扇状地(傾斜地)によく作られる施設であることを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>Question 2 (MQ)</b> 岐阜県に古くから存在している伝統的防災施設の意義と課題を考えよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>Question 3</b> 学校周辺の地形図から、霞堤を見つけよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○周辺に見られる4つの霞堤を見つける。</li> <li>○グループワーク用の地形図と個人用のプリント裏面にある地形図との両方に印をつける。</li> <li>○指名してホワイトボードに映した地図に印を付けさせ、全体で位置を確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>Question 4</b> ハザードマップと地形図を見比べて、ハザードマップ上の霞堤を見つけよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○霞堤を見つけて付箋で印を付ける。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○動画の視聴を、霞堤をはじめとする伝統的防災施設維持の課題を考えるきっかけとする。</li> <li>○霞堤の機能について板書して説明する。霞堤のしくみと効果を正しく理解させる。</li> <li>○岐阜県にも霞堤があることを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>観察机間指導【関】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○4人グループで活動させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>観察机間指導【技】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○書画カメラを利用して、地図をホワイトボードに提示する</li> <li>○ハザードマップを配布する。</li> <li>○ハザードマップの想定降水条件や凡例を確認する。</li> </ul>	

<p>・グループで意見をまとめる。</p>	<p><b>Question 5</b> 地形図から霞堤であることが読み取りにくい場所、霞堤であるのにハザードマップに浸水深の目安が示されていない場所があるが、これはなぜだろうか。</p> <p>○地形図、Google Earthの画像、千曲川の動画などを参考に考察する。</p> <p>○グループで意見を交流して、プリントに各自の考えを記入する。</p>	<p>○Google Earthの画像を提示して実際の霞堤を見せる。霞堤の遊水地として本来空き地であるべき場所に、家屋や工場等が建設されていることを確認させる。</p> <p><b>観察机間指導【技】</b></p>
<p>・グループで意見を共有する。</p>	<p><b>MQ</b> 岐阜県に古くから存在している伝統的防災施設の意義と課題を考えよう。</p> <p>○霞堤の意義及び課題について個人の考えをまとめた上で、グループで共有する。</p> <p>○プリント提出</p>	<p>○身近な課題として治水対策や災害の危険性を考えられるように促す。</p>